

事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされており、保護者様・来訪者様等の
閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

東京都福祉サービス第三者評価(2022年度) 評価結果報告書

2023年3月8日

社会福祉法人森友会
ともだちの森保育園

御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号

機構 03 -

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 中込 重秋



以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

	修了者番号		担当分野	
	①		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	H2001040	<input type="checkbox"/>	福祉	<input checked="" type="checkbox"/>
	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/>	福祉	<input checked="" type="checkbox"/>
	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/>	福祉	<input checked="" type="checkbox"/>
	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/>	福祉	<input type="checkbox"/>
	H1001023	<input checked="" type="checkbox"/>	福祉	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	福祉
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	ともだちの森保育園			
事業所連絡先	〒	185-0036		
	所在地	東京都国分寺市高木町1丁目22番41号		
	Tel	042-576-5557		
事業所代表者氏名	小嶋 佐知子			
契約日	2022年	8月	1日	
利用者調査票配布日(実施日)	2022年	10月	24日	
利用者調査結果報告日	2022年	12月	15日	
自己評価の調査票配布日	2022年	10月	5日	
自己評価結果報告日	2022年	12月	15日	
訪問調査日	2022年	12月	27日	
評価合議日	2022年	12月	27日	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査は共通評価項目により、インターネットでのウェブアンケート形態で実施した。また調査開始時に書面の配付やポスター掲示などで保護者の理解促進を図るほか、開始後には提出御礼と未提出者への呼びかけを兼ねたチラシを全対象者に配付し、必要に応じ提出期限を延長するなど、回答率向上にも努めた。 ・事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がより的確なものとなるよう配慮した。			

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての子どもの最善の利益のために「心身の調和的発達」を促す ・全ての子どもの最善の利益のために「基本的な生活習慣」の育成を進める ・全ての子どもの最善の利益のために「集団への参加と自主協調の態度」を養う ・全ての子どもの最善の利益のために「正しい言語生活や自然・社会現象に対する興味と関心」を育てる ・全ての子どもの最善の利益のために「子どもらしい表現によって、生きる力の基礎」を培う
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>社会人として世の中の規範を守り、相手の存在を認める。「森友会で大切にしていること」に取り組む気持ちがあり、意欲的に取り組もうとする。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもの“やりたい”という思いを受けとめ、子どもに沢山のことを経験できる場を用意する。</p>

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯70(在籍児童数81)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)に行なった。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行なった。

利用者総数	81
利用者家族総数(世帯)	70
共通評価項目による調査対象者数	70
共通評価項目による調査の有効回答者数	49
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	70.0

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」59.2%・「満足」36.7%の計95.9%と高い値を得ており、設問別では「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「整理整頓・清潔」など全17問中14問で80～100%の高い支持を得ている。自由意見では「子どもが選択できる自由さがあり、否定から入らない言葉かけをし、たくさん誉めてくれる先生方の人柄や雰囲気が良い。また、園庭があり、異年齢交流が盛んで、手作りおやつを提供や毎日の写真の配信などをしてくれる」「縦割り保育で年上の友達が優しく、手を引いて一緒に遊んでくれたりするので、優しさや思いやりの心が自然と連鎖する環境であり、他学年のリズム遊び等を自由に見学・参加できるのもよい」「園内全体がきれいで清潔で、職員の子どもや保護者への対応が安心できるので、この園に通えてよかったと思う」「全ての先生方が子どもを見て、丁寧に成長を見守り、誉め伸ばしてくれている。子どもが楽しそうにのびのびと通っていて、本当にありがたい」などの声が寄せられている。さらなる向上を望む意見としては、日常の保育内容、行事の充実に関するなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	48	0	0	1
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、有効回答者48人全員(100%)が「はい」と答えている。自由意見は12件で、「集団保育・異年齢交流が盛んで、さまざまな刺激を受け、教具も自由に使えるので、多くの経験ができています」「一つひとつの場面をよく見てくれているのを毎日実感しており、小さなことも見逃さず誉めてくれ、温かく見守ってくれるので、子どもがのびのびと安心して過ごせていることが成長につながっているのだと感じる」などのほか、おもつ替えの対応について意見があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	48	1	0	0
「はい」が98.0%、「どちらともいえない」が2.0%となっている。自由意見は、「工作や折り紙、塗り絵など興味に合わせて必要な道具や資材を用意してくれることがありがたく、リズム活動なども楽しそうだ」「季節のものや、月齢に応じて興味やわくものを準備してくれていると感じており、活動の写真を見ていると、とても真剣に楽しそうに取り組んでいるのがわかる」「定期的に教具や家具の入れ替えと配置替えをし、発達に合わせて工夫していると感じる」などの10件があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	47	2	0	0
「はい」が95.9%、「どちらともいえない」が4.1%となっている。自由意見は9件で、「事前に食材リストや食事内容のステップが示されたり、時期や子どもに合わせた対応もしてもらって助かっている」「特に不満はなく、栄養価はもちろん、バリエーションや食味にも気を遣ってくれているのではないかと感じており、家庭のご飯よりもうれしいようだ」「栄養士に相談できる時があり、話を聞いて少しでも食べるように工夫されていると感じた」などのほか、食事の提供量や個別の対応などについて、さらなる配慮を望む声が見られる。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	35	12	1	1
<p>「はい」が72.9%、「どちらともいえない」が25.0%、「いいえ」が2.1%となっている。 自由意見は15件で、「園庭遊びや公園への散歩など外遊びの機会は多く、防災訓練で消防車を見るなど多様な体験がありがたい」「散歩や避難訓練、外部施設を借りた運動会など、コロナ禍だが工夫してイベントを開催してくれるのが、親子ともに忘れられない経験になりとてもありがたいので継続してほしい」などのほか、戸外活動等のさらなる充実を望む内容や、それらが制限される一因となっているコロナ禍に言及する声があった。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	36	2	0	11
<p>「はい」が94.7%、「どちらともいえない」が5.3%となっている。 自由意見は7件で、「杓子定規でない柔軟な対応に感謝している」「仕事上の都合でどうしても予定時間がズレることがあるが、電話で対応してくれるのでとてもありがたい」「非常に柔軟に対応してくれていると思う」などのほか、お迎えの遅れ等の受容について、さらなる配慮を望む声があった。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	34	13	2	0
<p>「はい」が69.4%、「どちらともいえない」が26.5%、「いいえ」が4.1%となっている。 自由意見は13件で、「オートロックで解除番号が定期的に変えられており、その対策に驚いた。子ども同士のケガ等はあるが、保育者がしっかり見ていて報告があるので安心している」「過保護になることなく、安全性に気を遣ってくれていると思う」「いつも丁寧に報告してくれ、本当によく見てくれているとありがたく思う」のほか、外部侵入対策や保育中の安全管理、感染症対策等について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	47	2	0	0
<p>「はい」が95.9%、「どちらともいえない」が4.1%となっている。 自由意見は7件で、「事前のお知らせが早めにあるので、調整できてありがたい」「土曜日に設定されており、また事前に年間予定で記載してくれているので休みの確保がしやすい」「土曜が多いので参加しやすい」「配慮されていると思う」「いつも感謝している」のほか、行事の日程等における各家庭の負担等への配慮を望む声が見られる。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	3	2	0
<p>「はい」が89.8%、「どちらともいえない」が6.1%、「いいえ」が4.1%となっており、「はい」の値は前回(2019年度・以下同、78.7%)から改善傾向が見られる。 自由意見は10件で、「心配ごとを丁寧に聞いてくれ、園での様子も細かく教えてくれる」「日々の送迎時や個人面談等のコミュニケーションが多く、様子を丁寧に見てくれる」「親身になって相談や話を聞いてくれて、保育のプロの視点でアドバイスをくれるので助かる」などのほか、コミュニケーション機会や職員の対応について、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	47	1	0	1
<p>「はい」が97.9%、「どちらともいえない」が2.1%となっており、「はい」の値は前回(80.9%)から改善されている。 自由意見は6件で、「常に清潔で、整理されていると感じている」「いつもきれいだ」「いつもきれいで、展示作品も入れ替わりがあったり季節に合わせた飾りがあったり、手が行き届いている印象がある」「模様替えを定期的にしており、飽きずに遊べているようだ」「満足している」のほか、設備面について、気になる点が挙げられている。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	47	1	1	0
<p>「はい」が95.9%、「どちらともいえない」が2.0%、「いいえ」が2.0%となっており、「はい」の値は前回(83.0%)から改善傾向が見られる。 自由意見は7件で、「私服なのがとてもよく、先生方の個性もわかって好感が持てる」「割烹着やエプロンなどではないのが好印象だ」「皆本当に優しく感謝しかない」「皆話しやすく丁寧な印象だ」「いろいろと過度でなく、ちょうどよいと思う」などのほか、職員の接遇面について、さらなる検討を望む声があった。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	47	2	0	0
「はい」が95.9%、「どちらともいえない」が4.1%となっており、「はい」の値は前回(85.1%)から改善傾向が見られる。 自由意見は6件で、「こちらがびっくりするくらい丁寧な説明と、会う先生すべてから謝罪があり、先生の間で情報が共有されているのだと感じ、安心感があった」「いつも何かあると丁寧に報告してくれるので安心しており、ケガのあと冷やす等の対応をしてくれてありがたい」「迅速に連絡をもらっている」などのほか、ケガや体調変化等の把握と未然の防止の取組について、さらなる配慮を望む声が見られる。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	35	6	0	8
「はい」が85.4%、「どちらともいえない」が14.6%となっており、「はい」の値は前回(74.3%)から改善傾向が見られる。 自由意見は6件で、「トラブルの内容はもちろん、そのときの様子や子どもたちの気持ちも含めて話してくれるので、よく見てくれていると感じる」「むやみに無理矢理の仲介をせず、しっかり話を聞きながら当事者同士で解決するように促している、好印象だ」などのほか、保育者の子ども一人ひとりへの目配りや関わり、トラブル発生時の保護者への情報提供について、さらなる検討を望む声が見られる。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	41	6	0	2
「はい」が87.2%、「どちらともいえない」が12.8%となっている。 自由意見は12件で、「子どもの特徴や性格をよくわかってくれ、伸ばしてくれていると感じており、こちらが気づいていなかった一面を教えてくださいも多々あり、家でも誉めることができたりしてとてもありがたい」「子どもが選択できる環境になっており、先生方も気持ちに寄り添い待ってくれたり声をかけてくれたりしているように思う」などのほか、保育者の子ども一人ひとりへの関わりや目配りについて、さらなる配慮を望む声が見られる。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	43	3	0	3
「はい」が93.5%、「どちらともいえない」が6.5%となっている。 自由意見は、「気遣ってくれていると感じる」の1件があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	42	6	1	0
「はい」が85.7%、「どちらともいえない」が12.2%、「いいえ」が2.0%となっており、「はい」の値は前回(60.9%)から改善されている。 自由意見は5件で、「毎日の送迎時、どの先生も日中の様子をわかりやすく伝えてくれる」「今日はこんなことがあったといういろいろな先生から積極的に話しかけてもらえ、園での様子がわかりありがたい」などのほか、子どもの成長や日頃の保育内容等に関する保護者への報告や、職員の負担への懸念について、さらなる検討を望む声が見られる。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	39	4	2	4
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が8.9%、「いいえ」が4.4%となっている。 自由意見は5件で、「不満はないが、子どもの様子の観察をお願いしたい時に伝えると、必ずそのことのリアクションがあるので、ありがたく思っている」「何気ない子どもの遊びに関することを日常会話で話した際、他の職員が把握していたので、会議などで細かく伝達しているのかなと思った」「ほとんどないが、伝えたら対応してくれると思う」などのほか、保護者の不満・要望等に対する傾聴姿勢や対応について、さらなる配慮を望む声があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	24	11	4	10
「はい」が61.5%、「どちらともいえない」が28.2%、「いいえ」が10.3%となっており、「はい」の値は前回(48.5%)から改善傾向が見られる。 自由意見は3件で、「保育園入所時にしおりに書いてあった」のほか、外部の意見窓口の周知について、さらなる工夫を望む声が見られる。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている 〇非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている 〇非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている 〇非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している 〇非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている 〇非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している 〇非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている 〇非該当
	カテゴリー1の講評	
	系列園共通の保育理念や目指す保育を、職員や保護者に対して多様な方法で伝えている 系列園共通の保育理念である「すべての子どもの最善の利益のために」、3つの柱「誉める保育」「夢中になって遊べる環境」「異年齢保育」について、職員への入職時の初期教育やその後の法人内での各種研修を通じ、継続的な理解を促している。また職員会議の中で誉めるとはどうか、目指す保育の本質を考えることなどに取り組んでいる。保護者には見学時や入園説明会の際に法人パンフレットや園のしおり、「コンセプトブック」をもとに説明するほか、入園後も各便りや保護者会、個人面談などを通して、繰り返し伝えるなど共通理解に努めている。 職位や役割等を示し、各自の保育への理解深化や組織的な活動に取り組んでいる 経営層を含む各職位・職種の業務内容を示す業務分掌表に基づき、それぞれの職責について組織内で共有を図っている。園長は自身の考えを押し付けるのではなく、それぞれの職員が園の保育について自分の言葉で語れるようテーマに基づいて語り合う場を積極的に設け、お互いの考え方や保育観の理解が深まるように工夫している。その中で話し合いを踏まえ改善を繰り返し、園の目指している保育の実践に努めている。また、委員会やサブ・リーダーなどの役割・権限を設け、各自の意識や自覚の促しと、組織的な活動やチーム力の向上につなげている。 各種案件の検討・決定の手順が定められており、決定事項を職員・保護者へ伝達している 法人の重要事項に関する検討・決定は、理事会・エリアごとのブロック園長会にて行われ、職員会議で職員に周知を図っている。園では、乳児・幼児のフロアにリーダーが配置されており、園長・主任・各フロアリーダーでのリーダー会議を行っている。このリーダー会議で各種案件について、ある程度方向性について話し合い、フロア会議での検討を経て、職員会議で共有し、最終的な決定を行うという流れとしている。保護者に対しては、送迎時の口頭での説明や連絡アプリでの配信、紙媒体での伝達など、案件に応じて周知を図っている。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
多様な方法で保護者や職員の声を集め、園の課題を把握し、園運営に活かしている 保護者との個人面談の実施前には、聞きたいことについてアンケートをとり、面談当日は保育士に加えて主任・園長のいずれかが同席し、保護者の意見を把握するようにしている。保護者参加の行事の際には連絡アプリを使ってアンケートを行い、よい点や改善点についての声を把握し、翌年の行事に活かしている。職員とは普段のコミュニケーションの中で話しやすい関係性づくりに努め、気になることは各種会議で検討するようにしている。また自己評価シートをもとに面談を行っており、園運営への意見を把握するようにしている。		
施設運営に関連する地域・業界の情報を収集し、経営状況を管理する仕組みを整えている 国分寺市園長会や、国分寺市基幹型保育所システムの連絡会や研修、国分寺市保育・幼稚園課などから、行政や業界の動向、保育・教育や子育て、保育所経営等に関する地域の状況、他園の取組など関連する情報を収集している。園の収支・稼働率などの経営状況の管理は、法人本部が園の状況を随時把握している。予算については法人本部と連携し、経営状況と園の意向を照らし合わせ、また各種補助金の情報を踏まえながら、園づくりに必要な物品等を検討したうえで、適切な執行に努めている。		
中長期計画を始め、業務分野別、期間別の各計画に合わせた進捗管理を行っている 中長期計画は法人の計画を踏まえて作成し、「保育の質の向上」「働きやすい職場づくり」「主任・リーダーへの人材育成」「地域の方との関わり」「選ばれる園づくり」の各項目について、指標や期限を定めている。単年度の事業計画は、保育・人材・保護者と地域への支援・施設設備の各分野について、年度の重点課題・方針を定め、理事会や園長会に提示している。計画に合わせて法人事務局と協議し、予算を作成している。また保育・行事や防災・保健などの業務分野ごとに、年間、月・週・日の単位で計画が作成され、期間に合わせて評価反省を行っている。		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常的言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
<p>園として守るべき倫理・規範等を整備し、また虐待等の防止のための体制を整えている 法人や園の行動規範などを定めた「職員の心得マニュアル」の保育の基本編に、福祉サービスに従事する者として守るべき規範や倫理を明文化し、職員同士で保育について話し合う中で価値観を共有している。子どもの人権を尊重し、気持ちを傷つけるような言動などが行われないよう、定期的に虐待防止チェックシートを用いて振り返り、職員同士で意見交換するほか、全体が見渡せるフロア環境の中で互いに気かけ、声をかけ合っている。日々、子どもの様子を確認し、状況によって子ども家庭支援センターや児童相談所と連携して対応することとしている。</p> <p>保護者の苦情や要望等を把握し、園生活での支援・配慮に活かしている 苦情解決制度について、重要事項説明書に記載し、玄関横に制度についての案内や第三者委員の連絡先を掲示することで保護者に周知するほか、法人のホームページにも苦情の受付フローについて案内している。受け付けた苦情については、案件に応じ対応や解決にあたり、受付内容について法人のホームページで公開している。また毎日の送迎時の声かけや定期的な個別の面談等で寄せられる声を含め、保護者の意向について随時園内で把握し、内容により回答・解決するようにしている。</p> <p>園の透明性の確保に努め、地域との関係づくりに取り組んでいる 法人のホームページに、法人の基本情報に加え「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」と連動して現況報告書や計算書類、定款等を公開するなど、透明性を高める取組を行っている。また園のページにおいて、保育の様子や年間行事について掲載している。市の園長会に参加して意見交換を行うほか、市の基幹型保育所システムの「校庭さんぽ」や学校見学などの企画に参画し、地域との関係づくりを行っている。実習生や高校生の職場体験、小学生の取材の受け入れを行っており、受け入れマニュアルを準備して対応している。</p>		

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>保育中のさまざまな危険について、事例の共有をはじめとする各種取組を行っている</p> <p>ヒヤリハットやケガ等の保育中の事故は、発生場所・気づき内容・周辺状況・心身分析などを報告書に記録・検討したうえで、発生した要因や再発・未然防止のための改善策を記入・掲示しており、看護師が内科・外科に分けて統計を出し、組織全体で共有している。また園長は、法人の保育の質向上委員会、保健委員会に所属しており、系列各園で起きた事例をまとめた「安全レポート」により、系列園同士の経験値を共有している。これを園の職員に知らせ、ヒヤリハットに関する感度を上げ、同じような事故が起こらないよう改善と安全向上に活かしている。</p> <p>さまざまなリスクへの対策を講じ、保護者や地域との連携の備えを行っている</p> <p>感染症・災害・不審者・事故・アレルギーなど、各リスクに対してそれぞれマニュアルを備え、安全委員会が年間の訓練計画を立てて各種リスクに備えている。毎月の訓練は職員全員がそれぞれ担当し、取り組んでいる。BCPについて法人のフォーマットをもとに作成し、避難訓練時に口頭で確認している。引取訓練時に園にある防災グッズの利用・展示を実施し、保護者の理解を促している。また、国分寺市と「災害時における被災乳児等の緊急受入に関する協定書」を締結し、協定書に基づき「緊急受入計画」を作成して災害時の受け入れに備えている。</p> <p>各種情報の適切な利用・管理の規程と、情報漏洩の防止に向けた仕組みを整備している</p> <p>法人の「個人情報保護規程」や「個人情報管理マニュアル」に情報管理に関する規定や規則が定められており、職員に対し入職時の研修等で理解を深める取組を行っている。個人情報関連書類は鍵のかかるロッカーに収納して事務所内閲覧を原則とするほか、電子データはID・パスワードによるアクセス管理を行い、情報漏洩の防止に努めている。保護者には入園時に「個人情報の取り扱いについて」をもとに個人情報の利用目的等を説明し、同意を得ている。また、園やクラスの便り、連絡アプリ・メールへの写真掲載についても許諾を取っている。</p>		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー2(5-2)	
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している ○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている ○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる ○非該当
カテゴリー5の講評	
職員の確保と、園の状況や職員の経験に応じた人員の配置に努めている 人材募集は法人が中心となって行っており、園長も養成校の訪問や就職フェアに参加し、自園の特徴や保育の想いについて説明している。またホームページやSNS等を活用した広報を行うほか、園見学や面接は、リアルとオンラインの両方に対応している。配属・配置に関しては、各職員の希望や各園の状況、それぞれの経験などを考慮し、総合的に判断することとなっている。新人職員のOJTは職員全体で行い、年齢の近い職員を「バディ職員」として配置し、書類の記入方法や困りごとなどの相談をしやすい環境を整え、入職後のフォローアップを行っている。	
対話を通じた成長支援や目指す保育についての学び合いなど、多様な仕組みを設けている 「振り返りシート～自己評価表～」を用い、人物面や保育面について自己評価や目標、研修の希望を記入し、期中に進捗状況について面談するほか、年末には園長・主任による評価を踏まえて面談・振り返りを行っている。面談等を踏まえてフロアリーダーや委員会の委員長を選任し、処遇への反映を通じて意欲の向上も促している。「誉める保育」について、法人内の保育の質向上委員会主催の研修に参加し、講義や公開保育でディスカッションするなど学びを深めている。また、中堅や主任などリーダー向けの研修で、指導役の職員の能力向上を支援している。	
情報共有や会議の効率化、働きやすい職場づくり等を目的とした取組に努めている 組織内での情報共有に力を入れており、事務室のホワイトボードに週案や会議録、行事計画、各委員会の活動状況、ヒヤリハットや研修報告等を掲示し、職員は必ず確認するようにしている。幼児フロアの共有スペースでは、会議で話したいことや時間があるときに優先的にやりたいことを各職員が書き出し、職員間の協力のもと、効率的な運営に努めている。また「ありがとうボード」を用い、感謝の気持ちを送り合うなどチームワークの醸成に努め、法人で月に1回ストレスチェックを行い、懇親会の補助を行うなど、働きやすい職場環境づくりを行っている。	

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>法人全体で保育に関する考え方が一貫しており、園内でも理解の基盤はできていたが、保育以外の業務を協力し合って進めていく機能を高めることが必要であった。また、個々人の抱えている業務にばらつきがあり、誰が何をしているのか把握しづらいという現状があったため、園内の各種業務を見直し、委員会活動として整理していくことで組織的な取組を高めることを目標とした。安全・衛生・広報・環境・保育の5つの委員会を立ち上げ、各委員長を指名し、非常勤職員も含む全員がいずれかの委員会に属するようにした。各委員会の目標設定や活動ペースはそれぞれに任せ、毎月の職員会議で、委員会より取組内容や進捗状況を報告し、全体で共有を行った。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>委員会ではそれぞれの課題について活動し、振り返りと評価も実施した。安全委員会は、安全点検等を定期的に行うことで修繕につなげることができ、目標達成度は6割となった。衛生委員会は、SIDSチェック、嘔吐処理の仕方などの園内研修を実施し職員のスキルアップにつなげることができ、目標達成度は7割であった。保育委員会は、保護者への保育の伝え方を全員で考える研修を行い、保育感のすり合わせができ、目標達成度は5割であった。環境委員会は、子どもにとっての心地よい環境づくりについて議論し、園庭の教具などの置き方や使い方について共通理解が図れ、目標達成度は4割であった。</p> <p>委員会活動2年目に向けて、保育委員会は、内容が重複する部分もありリーダー会議に統合し、代わりに食育に関する業務や行事などを栄養士任せにせず、保育士が主体的に取り組めるように食育委員会を増設した。3つの委員会の委員長に3年目の職員を抜擢し、次期リーダー育成を兼ねた活性化を図ることとした。また委員会活動にばらつきがあったため、各委員会を月に一度は開くようにし、タイムリーに情報共有ができるよう、ホワイトボードに会議議事録を掲示し、情報発信を行っている。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

一昨年度はコロナ禍が始まり、特に国によるミドルリーダー育成のためのキャリアアップ研修などの外部研修に参加できない中、特に保育士経験が浅い職員にとって、どのように知識を深めていけばよいか課題となっていた。そのため、昨年度は園内研修を充実させるとともに、オンラインでのキャリアアップ研修が増えてきたため、キャリアアップ研修の積極的受講を勧め、職員の個々のスキルアップにつなげることにした。園内研修については、各委員会主催の研修を職員会議で行うようにし、キャリアアップ研修については、職員にキャリアアップ研修受講状況を知らせ、研修の案内が来た場合には随時案内し、受講できるよう勤務の調整を行った。

目標の設定と取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園内研修については、年度後半からの取組であり、新型コロナによる休園も重なり、保育委員会主催の「保育と作業の違いについてのディスカッション」、衛生委員会主催の「嘔吐処理・手洗い指導について」の2回の実施にとどまった。キャリアアップ研修については、17名中15名が受講し、全体で28項目の修了証を取得、職員全員が制度を理解し、研修に取り組むことができた。今年度に向けては、園内研修については、保育について考え、意見を交わす機会を設ける計画を立て、そこでまとめたものを便りで発信し、保護者へも伝えている。キャリアアップ研修に関しては、研修受講一覧を研修の案内とともに掲示し、それぞれが計画的に受講を行うことができている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>ホームページや各広報物を通じて、保育の理念・特色や大切にすることを発信している</p> <p>法人が定める保育理念「すべての子どもの最善の利益のために」と、系列各園で展開する「誉める保育」「夢中になって遊べる環境」「異年齢保育」などの保育で大切にすることをホームページ(以下、「HP」)で紹介している。園のページでは所在地・定員・職員構成・保育時間などの概要のほか、一日の流れや年間行事、園までのアクセスや避難場所を示すマップ等が示されている。また保育理念とその具体的な保育の内容をより詳しく伝える広報物「コンセプトブック」を公開し、園での具体的な活動や子どもの姿などを紹介する動画が公開予定となっている。</p> <p>行政との連携を図り、地域向けのさまざまな媒体で園に関する情報を公開している</p> <p>市のHPでは、各年齢ごとの定員と空き状況などが公開されており、随時その情報が更新されるほか、市内に所在する認可保育所ごとのページにて、園の概要の公開と園のHPへのリンク設定がなされる。また市の冊子「保育所等入所案内」にも市内の各認可保育所の情報が掲載されており、当園のページでは保育理念・目標や定員、一日の流れなどのほか、意欲・集中力を引き出す空間や知的刺激のある環境づくり、コミュニケーション能力を培う異年齢保育、子どもたちの豊かな想像力と表現力を高める表現遊びや造形活動といった保育内容の紹介も行っている。</p> <p>園見学を随時受け入れており、園の特色や思いなどを利用希望者等に伝えている</p> <p>園見学は電話での事前予約にて1家庭ずつで受け付けており、子どもの活動・食事の様子などが見られる午前を勤めているが、午後や土曜日など園の対応可能な範囲で随時受け入れている。当日はパンフレットや「コンセプトブック」を渡し、誉める保育や異年齢保育、担任だけでなくチーム保育を行うことのほか、日頃の室内・園庭での遊びや食事等を含めて、子どもが主体的に行動ができるよう、時間・空間・選択などの自由を保障していることなどを説明している。また室内を回りながら、補足の説明をしたり、質疑応答をしたりするなど、丁寧な説明に努めている。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園時の重要事項の説明と同意、利用終了後の支援の継続への配慮を行っている</p> <p>入園が内定した家庭には個別の面談形式で説明を行っており、事前に重要事項説明書等の書類を送付したうえで、その内容の確認と、必要な事項の記入を保護者に依頼している。当日は重点的なポイントを押さえた内容を説明しており、適宜、質疑応答を行うなどして疑問点等がないように配慮し、個人情報の取り扱いや重要事項説明などに関する同意書を取得している。卒園・退園などの利用終了時には送迎時の会話や面談などで保護者の不安等に寄り添った対応を行うほか、コロナ禍で実施を控えているが、卒園児を行事に招待するなどの関係継続を図っている。</p> <p>子ども一人ひとりの家庭での育ちや状況などを把握し、保育開始に備えている</p> <p>入園時には、保護者に記入・提出してもらった「児童家庭調査票」「個人調査票」「食事状況調査票」等をもとに聴き取りを行っており、その内容については各書類に適宜、追記している。食物アレルギーや既往症などがあれば、看護師による面談も行い、具体的な内容や状況を把握し、園での対応や配慮などに反映させている。また「慣らし保育」の実施の有無や期間などについて、保護者と相談したうえで決定している。これらの新入園児の個別の状況は乳児・幼児のフロア会議にて共有し、子ども一人ひとりへの援助や支援に役立てている。</p> <p>入園直後の子どものスムーズな園への順応と、保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>入園直後には、子どもが新しい場所や人に慣れ、安心して過ごしていけるよう、保育時間を徐々に延ばしつつ、食事・昼寝などの経験を経て通常の保育へのスムーズな移行の支援を行っている。登降園時には保護者とのコミュニケーションを図り、できる限り詳細な子どもの様子を伝え、質問に答えるなどして、保護者の不安軽減に努めるとともに、その子の状況に合わせて時間・期間の変更などに柔軟に対応している。またフロアごとで情報共有と連携を図り、子ども一人ひとりの状況を把握し、その子が安心できるような言葉かけや援助に努めている。</p>			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
子どもの成長・発達や健康状態等の情報を、定期・随時に記録している 入園時には保護者記入の各種書類や個人面談などから、子どもの成長・発達や生活リズムのほか、家庭の状況など、保育に必要となる情報の収集を行っており、各種の記録は入園後に定期・随時の更新をしている。体格的な成長は、身体測定を毎月実施し、その推移を記録するほか、定期健康診断の結果、家庭で受診している行政の定期健診や予防接種の状況について、保護者から聴き取り、台帳に記録している。また心身の発達については、発達の主な現れに関するリストを用いて評価し、全体的な姿をコメントで記録している。		
全体的な計画をもとに、長期・短期の保育計画を策定している 全体的な計画には、保育方針・保育目標や保育所の社会的責任のほか、年齢別の養護と教育における子どもの成長の見通しなど、子どもの育ちや保育実践に向けた方針が記されている。これをもとに年齢別の年間を4期で構成する長期的な保育計画を策定し、短期的な月・週の計画に展開することとなっている。計画は、乳・幼児会議等の話し合いの場において、子どもの状況を伝え合うほか、環境構成・保育内容に関する検討を行ったうえで作成しており、周期ごとに振り返りを行い、次の計画・実践につなげている。		
個々の状況に応じて個別の計画を策定し、保育内容や成長を保護者に伝えている 集団としての計画だけでなく、2歳児までの子どもには、個人別の指導計画を作成している。前述の乳・幼児会議では、子どもの状況を伝え合っており、臨床心理士等による巡回相談の際に得られた助言も共有し、個々の状況や特性に応じた援助ができるようにしている。保護者に保育の目標や内容を伝えており、毎月のクラス便りに子どもの姿や成長・実践の内容、行事予定などを掲載するほか、個人面談の際には、養護と教育の各領域における子どもの成長の見通しを伝えている。		

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どもの情報やプライバシーの保護、羞恥心・自尊心への配慮に努めている 子どもの情報を外部とやり取りする必要がある場合には、保護者に確認したうえで、つど同意を得ることとしている。子どものプライバシーの保護に努めており、おむつ交換等の排せつの援助は、他から見えない場所で行うほか、着替えは上下を順に行って全裸にならないようにしている。また羞恥心や自尊心への配慮として、排せつの失敗の際には、他児に気づかれないような援助を心がけている。年長児には、看護師によってプライベートゾーンに関する話をしている。</p> <p>各家庭の意向に寄り添い、一人ひとりの子どもの意思や主体性などの尊重に努めている 子どもの状況や保護者の価値観などは入園時の聴き取りで把握するほか、入園後の日々の会話や連絡帳のやり取り、定期的に行う個人面談などを通じて、各家庭の意向を確認し、園として可能な配慮や支援に努めている。0~2歳児は個別の計画を作成し、一人ひとりの生活リズムや意思を尊重した援助を行うほか、幼児においてもフロア会議等で特記事項などを伝え合い、集団においても個別の配慮を行っている。これらのもとで子どもが自ら意思決定ができるような環境を整え、自尊感情や自己肯定感を育みつつ、主体性を尊重した保育実践に取り組んでいる。</p> <p>職員と保育で大切にすることを再確認しており、虐待関連の研鑽の共有化を図っている 会議において子どもへの適切な関わり方や大人の所作・配慮等を再確認したり、大切に保育について話し合う中で、保育者の考え方や保育観などをすり合わせながら、職員の意識継続を促している。また、所定のチェックリストによる各人の振り返りを定期的実施している。虐待関係のマニュアルを整備し、登園や着替えの際の観察等から早期発見に努め、必要に応じて関係機関への通告や連携を図る仕組みを整えている。階層に応じてキャリアアップ研修を受講し、保護者支援・子育て支援に関する研鑽内容を回覧及び閲覧確認によって職員間で共有している。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>職員の心得や運営・保育に必要な手引きを定め、実施漏れがないような工夫をしている</p> <p>法人が系列園共通のマニュアルとして、職員の心得や子どもの人権の尊重のほか、災害・アレルギー・安全管理・健康管理・感染症などの各種業務手順や考え方を定めており、これを事務室内で閲覧に供している。また保護者向けの説明資料「入園のしおり」を職員にも配付し、周知を図っている。日常的な保育実践や事務的な業務、個人情報保護・事故防止などの徹底について、職員会議や乳児・幼児のフロア会議での確認とともに、その遵守を促している。また清掃・SIDS・食事提供などについては実施漏れがないよう、チェック表を用いて取り組んでいる。</p> <p>各種の仕組みや手引きの見直しを図り、保育を高め合う機会を設けている</p> <p>各種の手引きや仕組みの見直しについては、行政等からの通知や各園の運営状況などを踏まえ、法人内の専門部会や各委員会などでの検討を経て行う仕組みとなっており、変更した内容等については各園に展開されることとなっている。また系列園で行う「誉める保育研究会」では、自園を見てもらったうえで、園の悩みや助言が必要な部分と、それぞれの方の気づきなど、他の職員の意見や提案などを聴くほか、他園の取組・工夫などを見たり聞いたりして自園の保育に活かすなど、相互に高め合い、法人・園で大切にすることを再確認する機会にもなっている。</p> <p>行事や保育の改善に努め、委員会活動でのさまざまな検討と取組を進めている</p> <p>上記に加え、園内においても職員会議や乳児・幼児のフロア会議において、子どもの様子やその時の状況などを共有し、必要な見守りや環境設定などの工夫につなげるほか、大人同士のアイコンタクトや声掛け・見守りのあり方などの確認も行っている。行事後においては保護者アンケートを実施しており、職員の振り返りや意見などとともに、会議で共有したうえで、次年度の検討・改善事項などに反映させている。また安全・保健衛生・広報・食育・環境の委員会を設け、各担当が必要な事項などを検討し、各種の対処を行うことで、質的な向上につなげている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの全体的な姿の把握に努め、保育環境の最適化を図っている</p> <p>子どもの成長・発達や興味・関心のほか、健康・情緒などの状態は、日々の保育実践や保護者との送迎時の対話・連絡帳のやり取りなどから把握に努めている。また職員間において、日常の保育の各場面や、乳・幼児会議等の話し合いの場で伝え合うようにしている。保育環境は定期的に見直しを図っており、毎週、教材・教具の入れ替えを行うこととするほか、空間構成についても、子どもたち同士の関わりの様子や遊びの広がり、生活面の援助に必要なスペースの確保や動線などを配慮し、会議で検討したうえで最適化を図っている。</p> <p>0・1歳児や2歳以上児の異年齢保育が実践されており、育ち合いを促している</p> <p>年上児が年下児を気にかけて、遊びに加わろうとする年下児に遊びや道具の使い方をわかりやすく伝えたりする姿などが見られるほか、年下児は年上児への憧れから、まねようとする中で、遊びや所作を獲得するなど、育ち合いが促されている。また年齢に関わりなく展開する活動や自由時間を確保することによって、発達や興味の近い子どもたちの自由な遊びの広がりも見られている。保育者は子どもの心の動きや行動を誉めることを大切にしており、子どもたちが受容してもらう経験を重ね、職員が誉める姿を示すことで、他者受容の心を育んでいる。</p> <p>子ども同士のトラブルの際には、年齢や発達などの状況に合わせて対応している</p> <p>子ども同士のトラブルへの援助では、保育者が子ども一人ひとりの特性を把握したうえで、関わり方を変えるようにしている。言葉のコミュニケーションが未発達な子どもの噛みつきや引っかきの際には、互いの思いを汲み取って代弁し、関わり方を伝えるとともに、できる限り事前に防げるよう、子どもの状況の把握に努めている。言葉によるやり取りができる子どもは見守りも大切にしており、必要に応じて代弁や仲立ちのほか、話題の整理などの援助をしている。小学校との連携として、市の就学前交流会や連絡会に担当職員が参加し、情報収集に努めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登降園時には保護者と子どもの状況を伝え合い、職員間での情報共有に努めている</p> <p>登園時には受け入れを担当する保育者が、子どもや保護者と挨拶を交わしつつ、子どもの顔色や表情、情緒等の状態を確認するとともに、保護者から体調の変化の有無や降園時間等の情報を聴き取っている。その際に得た情報は、情報共有用の伝達簿にて職員間で共有しており、連絡帳の内容とともに、伝達簿を確認したうえで保育にあたることとしている。降園時には、できる限り一人ひとりのエピソードを口頭で伝えるよう努めるほか、連絡アプリを用いて、写真の配信を行うなど、より伝わりやすい工夫がなされている。</p> <p>基本的な生活習慣の習得に向けた援助は、子どもの発達状況や意欲を踏まえて行っている</p> <p>排せつの自立に向けた援助では、子どもの排尿間隔が一定になっていることを目安にパンツへの移行を徐々に進めている。トイレで成功した際には、子どもを誉めて喜びを共有し、意欲を高められるようにしている。衣服の着脱の援助において、一緒に声をかけながら行い、自分で行う様子が見られた場合にその姿を見守るほか、子どものその日の気持ちによって難しい場合には、その気持ちを受け止めて援助することを大切にしている。また家庭との連携を図っており、保護者に園での様子を伝え、衣服の替えの準備などを呼びかけている。</p> <p>休息は子どものペースで取れるよう、場所の確保や声かけなどの援助に努めている</p> <p>休息は子どものペースで取れるようにしており、身体を横にして休むことができる場所や見守る職員を確保している。朝早く登園した子どもの眠気や、夕刻以降に疲れ等で横になりたい欲求にも応じている。低年齢児は家庭での生活リズムやその子のペースに応じて睡眠ができるようにしている。幼児においては午睡をとるかどうか、子どもの意思を尊重しており、休息の必要性が感じられる際には個別に声かけを行っている。また室内には水差しを用意し、適宜の水分補給ができたり、状況によって大人が促したりして、体調や健康面への配慮も行っている。</p>		

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもたちが自分の興味・関心のあるものに、自由に取り組める環境を整えている

保育室内には、子どもたちのさまざまな興味・関心に応えることができるよう、多種多様な教具を用意するほか、子どもが自由に使えるように使い方を提示している。2歳以上児がともに過ごす幼児フロアでは、発達差によってできることが異なることを踏まえ、教具の種類や量などを定期的に見直すほか、子どもが遊び込めるよう、身体を動かしたり、音楽を流して身体表現をしたりするスペースと、絵本や制作を楽しむコーナーなど、遊びの内容や配置などを踏まえて設定している。また室内・戸外のどちらで活動するか、子どもが自由に選べるようになっている。

集団活動を通じてさまざまな心を育み、言葉に対する感覚を養う援助や活動を行っている

年間を通じて実施しているオペレッタ(音楽劇)は、集団活動や表現することの楽しさを味わう機会となっており、表現力や想像力を培うだけでなく、みんなで一つのストーリーを作り上げる体験を通じて達成感もたらされ、協調性も育まれている。集団活動への参加に消極的な子どもがいる場合には、無理強いせず、子どもの気持ちや状況に応じて援助するよう努めている。言葉に対する感覚を養えるよう、子どもへの援助では、動作や状況を言葉にするほか、絵本の読み聞かせや手遊びなどを行い、やり取り遊びを楽しめる環境も用意している。

表現活動や戸外での遊びなど通じて、感性の育みや体力の増進などにつながっている

保育室には、制作活動に取り組めるよう、道具や素材が用意されており、子どもたちが自由に制作を楽しんだり、音楽に合わせてダンスを踊ったりしている。散歩の道中では子どもが気づいたことやつぶやきに応じられるよう、少人数で出かけることとしており、自然の不思議にふれ、季節の移ろいを感じているほか、交通ルールを伝える機会にもしている。園庭では、泥んこ遊びや見立て遊びに興じたり、凹凸のある築山に登ったり、固定遊具・フープ・三輪車・鉄棒で遊んだりするほか、ボール遊び・縄跳び・追いかっこなど、さまざまな遊びに取り組んでいる。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>保護者への発表を伴う行事を実施する際には、導入や進め方の工夫に努めている</p> <p>「フェスティバル(発表会)」では、年間を通じて取り組んでいるオペレッタや、リズム遊びを披露しており、表現することを楽しみ、互いに認め合うことを目的として取り組んでいる。「もりんびっく(運動会)」では、4歳児がパラバルーン、5歳児がソーラン節に取り組み、楽しみながら練習してきた成果を披露している。これら保護者への発表を伴う行事を実施する際には、練習しなければならないというイメージではなく、保護者にどんなことを楽しんできたかを観てもらおうという意識を子どもたちが持てるよう、導入や進め方の工夫に努めている。</p> <p>子どもたちがさまざまな体験をする行事を採り入れている</p> <p>今年度の夕涼み会では、お店屋さんごっこに取り組んでいる。市中のハンバーガー店へ見学に出かけ、衣装や商品に関する話し合いをして、独自のお金も作り、当日は甚平や浴衣に身を包み、祭りの雰囲気やごっこ遊びを楽しんでいる。年長児の「冒険の旅」では、公共交通機関を使って美術館に出かけており、友だちとの思い出の一日となっている。</p> <p>季節の行事では制作や遊びを楽しみ、行事では保護者の参加・協力を呼びかけている</p> <p>七夕では笹を用意して短冊や七夕飾りをかけ、ひな祭りでは雛壇を飾るほか、クリスマスではリースの制作に取り組んでいる。また餅つきでは、ついた餅で鏡餅を作るほか、餅米から餅になるまでの過程を知り、餅の感触を楽しんでいる。正月遊びではカルタや凧揚げを楽しむなど、季節や文化を体験する機会がさまざまに設けられている。行事への取組の様子は、日々の活動報告やクラス便りに記載して保護者に伝えている。また七夕の短冊や、「もりんびっく」の万国旗制作や親子競技など、保護者に参加・協力を呼びかけている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもたちの心身の負担を考慮し、健康面・情緒面への援助・配慮に努めている</p> <p>長い保育時間を健康的に過ごせるよう、登園時の視診をはじめとする健康観察や検温、職員間の情報共有に努めて体調の急変に備えるほか、適時水分補給を行い、いつでも休めるよう対応するなどしている。情緒面に不安が見られる場合には、そばでゆっくり過ごしたり、子どもが好きな遊びを楽しんだりするほか、スキンシップを図るなどして、安心して過ごせるよう援助・配慮に努めている。また長時間の保育の負担をできる限り軽減できるよう、入園直後には慣れ保育を実施して、徐々に保育時間を延ばしながら、園生活に馴染めるようにしている。</p> <p>保育形態の変化があっても、子どもたちがゆったりと過ごせるよう配慮している</p> <p>朝と夕方の時間帯は、他の年齢の子どもと一緒に遊んだり、お世話し合ったりする機会となっており、低年齢児に配慮しつつ幼児でも安全に遊べるような玩具を提供している。年上児から発達相応の教具を使いたいと希望があった場合には、場所を分けるなど安全を確保したうえで提供することとしている。年上児には、体格差のある子どもがいることを伝え、注意を促すようにしている。また夕方からは補食を提供し、お迎えをゆったりと待てるようにするとともに、間接照明による穏やかな雰囲気づくりもなされている。</p> <p>保育時間が長くなる子どもたちが、飽きずに一日を過ごすことができるよう配慮している</p> <p>子どもたちの自己決定や意欲の尊重を心がけており、日中の多くの時間帯は自由保育とし、子どもたちは自分の好きな遊びを好きな仲間と楽しんだり、一人で集中して取り組んだりしている。室内での遊びの自由だけでなく、園庭遊びを選択する自由も保障されているなど、保育時間が長くなる子どもたちが飽きずに一日を過ごすことができるような環境となっている。また延長保育の時間帯を楽しむことができるように、日頃提供しない教具・教材を出したり、新しい遊びを提案したりするほか、日中の遊びの続きを行うことができるよう対応している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>食事においても子どもの主体性を尊重し、自発的に食べることを支援している 食事の時間は11時から13時までとし、子どもが自分のお腹のすき具合や遊びたい気持ちなどに合わせて、自由に時間を選択できるようにしており、座る場所も子どもが自由に選んでいる。身支度の済んだ子どもは席について、名前が呼ばれるのを待ち、保育者は準備ができたら、子どもの名前を呼び、ハグをしてから配膳を始めている。1歳児の後半からビュッフスタイルを採り入れており、保育者は子どもとやり取りしながら盛り付け、苦手意識のあるものでも、減らすことで食べてみようとする意欲を促している。</p> <p>離乳食や食物アレルギーへの対応など、安全な食事の提供に取り組んでいる 離乳食は保護者から既食食材を聴き取り、初めての食材は、家庭で複数回経験した後に提供することとし、体調や咀嚼の状況を踏まえ、無理なく進められるようにしている。提供は、まずは1対1で介助し、安全に食べられるよう、咀嚼や一口で食べられる量を踏まえて行っている。食物アレルギーがある場合は面談を行い、医師の指示書をもとに除去食材等や対応に関する同意を確認するほか、提供時には専用のトレイを用いたり、写真付きのプレート等を準備したりするなど、視覚的な工夫を施すとともに、複数名で確認するなど、誤食の防止に努めている。</p> <p>子どもたちが食事や食材への興味・関心を高めるための食育活動を行っている 乳児は食材に触れたり、クッキーの型を抜いたりするなどの簡単な工程を楽しむほか、幼児ではマッシャーでカボチャを潰し、包丁でパンの耳を切って、サンドウィッチを作るなど、調理器具を用いた調理体験を行っている。ナス・トマト・オクラなどの夏野菜や椎茸の栽培を行ったり、芋掘り遠足やいちご狩りに出かけたりにしている。また冬至のかぼちゃ料理や正月の七草粥など、行事食を提供するほか、餅つきではついた餅で鏡餅を作り、餅米から餅になるまでの過程を伝えるなど、食文化にふれる機会も設けている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>看護師による保健指導では、子どもたちの年齢や理解度に応じ、わかりやすく伝えている</p> <p>看護師による保健指導では、子どもたちの年齢や理解度に応じて内容を工夫して実施している。手洗いはその大切さを伝え、スタンプやブラックライトなどを使用し、視覚的にわかりやすいよう工夫しながら正しい手洗いの方法を伝えるほか、歯科指導では歯や口の役割や虫歯予防の方法などを知らせている。また4・5歳児に絵本等を用いてプライベートゾーンについてわかりやすく伝えたり、5歳児にはケガをした時の対応や予防方法などについて一緒に考えながら確認するなど、自分の身体のことを知り、自ら言葉で状況を伝えられるようにしている。</p> <p>子どもたちが園生活の中で健康的な生活習慣が自然と身につくようにしている</p> <p>園生活の中で子どもたちが場面ごとで手洗いに取り組んだり、手の届くところにティッシュや鏡を置いて、自分で鼻かみや口拭きを行うなど、必要時の声かけや援助をしながら、衛生的な習慣が身につくようにしている。また火災等での安全な避難のための約束ごと「おかしも」を伝えたり、絵本等を用いて災害に関するクイズをしたりして理解を深めている。新型コロナウイルスの感染防止として、場面ごとでの手洗いや食事時のパーティションの使用等を行うとともに、行政の方針や通知などをもとに保護者にも各対策を依頼するなど、園と家庭で取り組んでいる。</p> <p>医師・看護師・保護者との連携を図り、子どもの健康の維持・管理にあたっている</p> <p>嘱託医による定期健診や歯科健診が行われており、子どもの発育状況や健康状態を把握・記録している。また嘱託医との随時の相談・連携の体制を整えており、保護者の方から子どもの健康や医療的な面での相談・質問などがあれば、看護師と連携したうえで回答したり、嘱託医に相談したりして、個別に対応している。子どもの健康維持やその向上に向け、入園時の保健に関する説明のほか、保健便りを発行し、新型コロナウイルスを含む季節ごとの感染症の予防や対応、子どもの皮膚や爪のケア、子どもの体調管理など、園生活や家庭で役立つ情報を提供している。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>各家庭の子育てや就労等の状況を把握し、柔軟な対応や多様な配慮に努めている</p> <p>送迎時の会話や連絡アプリでのやり取り、保護者会や個人面談などを通じ、各家庭の子育てや就労等の状況を把握し、職員間で情報共有を図り、それぞれへの支援や配慮を行っている。また日頃の保護者との対話や個人面談などを大切にしなが、信頼関係の構築に努めている。延長保育での夕食の提供や急な残業等によるスポットでの利用への柔軟な対応のほか、連絡アプリ等を活用した保護者との連携や各種の配信など、利便向上にも配慮している。行事後にはアンケートを実施し、寄せられた内容を踏まえ、次回開催時の改善にも反映させている。</p> <p>子どもの様子を見てもらうとともに、保護者同士の会話や交流の機会を提供している</p> <p>保護者会では写真・動画を用いて子どもの園での様子や姿などを共有するとともに、保護者の自己紹介と、子どものチャームポイントやエピソードなどを話してもらうほか、家庭での悩みや他の保護者に聞きたいことなど、保護者同士で自由に話ができる時間を設けている。また送迎時に顔を合わせる各家庭や保護者同士の関わりがもたれるほか、保育参観・育児講座や「もりんびっく」「フェスティバル」などの保護者参加の行事においても、子どもたちの様子や姿などを見てもらうとともに、参加した保護者同士の自然な歓談が行われる機会となっている。</p> <p>園と保護者との関係や理解を深めながら、子どもに関する情報を保護者と共有している</p> <p>保育参観・育児講座を開催し、保育参観では親子で夕涼み会の制作に取り組みながら、日頃の子どもたちが楽しむ姿や遊びなどを見てもらうほか、法人の保育アドバイザーによる育児講座では日頃のリズム遊びの話を交えながら、子育てにおける大切なことを伝えている。園・クラスの便りでは子どもたちの様子や好きな遊び・絵本、テーマごとの保育で大切にすることなどを知らせるほか、職員の好きなことや趣味、休日の過ごし方や好きな食べ物などを知らせることで、日頃の職員と保護者とのコミュニケーションのきっかけにつながるような工夫をしている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>季節ごとのさまざまな場所に出かけ、自然を感じながら多様な体験を行っている</p> <p>近隣の公園への少人数での散歩に出かけるほか、子どもの年齢や状況などに応じて、季節ごとにさまざまな場所での遠足を行っている。遠足では公園に出かけて季節を感じながら遊んだり、いつもと違った場所で弁当を食べたりするほか、公園までの経路で安全に歩けるように交通ルールを学んだりする機会にもなっている。また近隣の農家の方の協力を得て、話を聞いたり、実際に土に触れながら、さつまいもを収穫する体験が得られるほか、公共のバスを利用して出かけ、いちご狩りを行う機会も設けられている。</p> <p>年長児ならではの思い出づくりや、関心の高まりから生じる活動が行われている</p> <p>5歳児の「ぼうけんの旅」ではバスや電車など公共交通機関を使用して高尾山まで出かけ、トリックアート美術館を見学したり、ケーブルカーに乗るなど、子どもたちが一緒に園外で過ごす体験を行っている。今年度は、夕涼み会のお店屋さんごっこの内容を決めるため、5歳児が市中のハンバーガー店へ見学に出かけ、どんなものを作るのか、どんなことをしているのかなど、実際に見ることでイメージを広げ、その後に衣装や商品に関する話し合いを行って当日を迎えるなど、身近な環境を活かし、子どもたちの興味・関心や視野の広がりにつなげている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	子どもや保育について語り合い、多様な工夫のもとで、最適な環境の提供に努めている	
内容①	各会議で子どもの様子やその時の状況などを共有し、必要な見守りや環境設定などの工夫につなげるほか、職員会議では保育に関する話をしており、思いを述べ合う中で互いの保育観をすり合わせたり、大切にしたいことを確認し合ったりしている。また乳児・幼児のフロア会議で、玩具の内容や環境の設定、大人同士のアイコンタクトや声掛け、見守りなどの在り方などを再確認するほか、係活動を通じて、環境美化や安全・衛生など、多様な視点で環境整備をするなど、子どもたちにとって最適な環境を提供できるよう、人的・物的な向上とその充実に努めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	個人面談や便りの発行などを通じ、子どもの様子や園での取組を保護者と共有している	
内容②	個人面談は一定の期間の中で、保護者の希望によってオンラインと対面にて行っており、年齢ごとの目標や子どもの育ちの姿などを事前に知らせるとともに、聞きたいことや心配なことなどを聴き取り、それをもとに話をしている。またわかりやすいよう様式を見直し、その年齢に合わせた内容を抜粋して知らせるなどの工夫をしている。各便りでは子どもたちの様子や日頃の遊びなどを紹介するとともに、「誉めること」「散歩」「食事」などのテーマごとで、園で大切にしていることや、保育・職員の思いなどを掲載し、保護者にその内容を発信している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	各職員の当事者意識やリーダーとしての資質、チーム力の向上を図っている	
内容③	次期リーダーの育成のため、職員との面談や日頃の行動を踏まえ、サブリーダーや委員会の委員長を選任している。課題設定から会議運営まで、委員長としてリードする経験や、サブリーダーとしてフロアリーダーを補佐してフロア会議の運営を行うとともに、園長・主任・リーダーと一緒にサブリーダー会議に参加する経験が各々の視野を広げ、一職員とは違う視点で業務を見ることにつながっている。また各職員が避難訓練・園内研修・係などの経験をする事で当事者意識を高めるとともに、毎年行う研修においても、チーム力の向上や活性化を図っている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの存在自体を認め誉めることで、自尊感情や自己肯定感などを育むとともに、自己決定を待ち見守る中で生きる力の基礎を培っている
	内容	「幸せを実感できる保育」「生きる力の基礎を培う保育」を目指し、子どもが心を動かして取り組んだことや、できるようになったことなどに対して、保育者がハグや拍手で応えたり、目を合わせたりして、子どもの存在そのものを認めていることを伝え、自尊感情や自己肯定感を育んでいる。また日々の生活と遊びの中で見られる子ども同士の関わりや、そこで体験する喜怒哀楽のほか、自己決定を見守りつつ待ち、求めに応じて誉めながら援助することで、子どもの主体性や応用力、対話力や助けを求める力などの生きる力の基礎を培っている。
2	タイトル	子どもたちがそれぞれの空腹感や見通しを持って食事に向かえる環境を整え、食事への意欲や興味を高める食育を行っている
	内容	食事は友だちと一緒に楽しく食べることを大切に考えており、誰といつ食べるかを自分で決められるようにしている。一人ひとりが空腹感のほか、今行っている活動や食後に行いたい活動などの見通しを踏まえたうえで、食べるタイミングを自分で決め、配膳の際には、保育者に自分の食べられる量・食べたい量を伝えている。また食育活動では、乳児の頃から食材に触れて、簡単な調理体験をし、幼児クラスでは包丁を使ってパンの耳を切つて、サンドウィッチを作るほか、夏野菜や椎茸の栽培・収穫と芋掘りを楽しむなど、食事への関心や意欲を高めている。
3	タイトル	制作・描画などの制作活動や、音楽劇・ダンスなどの音楽表現、戸外活動など、子どもの感性を育む活動をさまざまに行っている
	内容	保育室には、子どもたちが自由に制作や描画に取り組める環境を整えており、感触を楽しむ遊びを採り入れるほか、制作活動では、季節感のあるものをテーマとして月に一つの作品を目安に取り組み、発達段階に応じて、さまざまな道具や表現技法を体験している。ダンスやストーリー性のあるオペレッタ(音楽劇)を採り入れ、「フェスティバル」で、日々の取組の成果を発表している。園庭や散歩などの戸外活動では、自然物や自然現象にふれており、季節の移ろいや不思議を体験するなど、これらの活動を通じて、子どもたちの感性を育てている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	長期的なキャリアの見通しに合わせた個別の育成の仕組みの充実と、リーダー層のさらなる成長支援の進展が期待される
	内容	職員の入職後のキャリア形成の道筋を図示した「職員のキャリアプランについて」と、付属する職務分掌表・各職位の職務内容一覧を作成している。保育職については、経験等に応じて求める能力等をより具体的に示すなど、さらなる検討の余地も見られるほか、これらを組織全体にさらに周知させ、将来の展望の参考とするともに、組織の求める姿や園における期待を重ね合わせた個別の育成計画等にも活用することが期待される。また委員会活動やサブリーダー会議などの権限移譲を進めるなど、注力する次期リーダー育成が進展することにも期待が寄せられる。
2	タイトル	社会的な状況や地域ニーズを見定めながら、今後の開かれた園づくりに向けた各種の取組とその充実が期待が寄せられる
	内容	コロナ禍で地域との交流や子育て支援の活動は制限がかかることがあるが、小学生の園取材の依頼を受け入れるほか、市との協定のもとで災害時の地域子育て世帯の備蓄品を提供する体制づくりを行っている。園ではより開かれた園づくりを課題ととらえ、園内の子育て支援室の活用の検討とともに、園庭開放や園行事への招待、育児講座などの地域向けの子育て支援事業の実施や充実を目指している。社会的な状況や地域ニーズをとらえながら、今後の取組が結実することに期待が寄せられる。
3	タイトル	中長期計画と事業計画との連動性を高め、各計画の着実な実行につながるための工夫を一考されたい
	内容	法人が定める中長期計画を踏まえ、当園での中長期計画を新たに定めている。これとともに、重点的な取組や毎年取り組むべき事項などを示した事業計画を作成し、実践後の振り返りと報告を行う仕組みとなっている。ただ、中長期計画と事業計画との連動性を高めることや、年度ごとの園ならではの課題や重点項目の反映など、計画の実行力を高めるための工夫は検討の余地がある。今後のこれらの取組が期待されるとともに、その内容を職員と共有し、組織的な取組を行うことも一考されたい。